

# 長 生

令和3年 8月号

## 目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏	
孟蘭盆会		1
行事・医学会 中止のお知らせ		2
宗 教 編		
法 話	得勝寺 本莊一治	3
医 学 編		
社会保険制度 その2	長生学園 講師 星 虎 男	5
長生医学編		
北長連「第62回夏季研究会」テキストより転載		
ご挨拶	札幌協会 主管 酒井和男	8
今だからこそ	北海道連合会 会長 上田義博	9
お礼とご報告	深川市 福井 剛	10
見えない力に守られて	旭川市 大村まや	12
随 想 編		
「なせば成る」	東京都 玉川 佳代子	13
北長連「第62回夏季研究会」テキストより転載		14
長生知恵袋		15
帰ってきた ☆どちんのただいま徒然中☆ その10		17
令和4年度(第67期生)長生学園学生募集要項		18
長生会便り		
支部報告		19
訂 正		19

日本長生医学会

## 会長のことば

総本山長生寺管長 柴田政宏  
日本長生医学会会長

梅雨が明けると同時に、各地で厳しい暑さが続き、熱中症対策が望まれています。またこれからの時期、短時間での集中豪雨による災害にも、注意が必要とされています。

7月11日、長生寺において長生寺役員会、盂蘭盆会の法要が行われ、近くに在住の先生方と、この一年に亡くなられた先生方を偲びました。今後の長生会の行事につきましては、秋に向かいまだまだ安全な状況は期待できないので、秋季行事は、講習会・医学会を中止とし報恩講のみ行うこととさせていただきます。来年の春季行事までには、ワクチン接種が国民全体に広くいきわたると思われまますので、例年通りの開催ができるのではないかと期待しております。ワクチン接種により重症化を防ぐと報告されておりますので、会員の皆様もできるだけ摂取されるようおすすめします。

毎日これが人生最後の日と思って生きてみなさい。  
そうすればそれが正しいとわかる日がくるだろう

スティーブジョブズ

誰でも人生最後の日が訪れることはわかっていても、なかなか実感は出来ていない。思わぬ災害や事故などに巻き込まれ突然死が訪れることもあります。死を身近に意識することにより生き方に変化が生まれるのではないのでしょうか。私も還暦を過ぎ真剣に考えていく時期であると痛感いたしました。ただ毎日を惰性で過ごすのではなく、長生上人の教えに従って長生医学を通して、霊肉救済に努め「徳」を後に続く人たちに遺していけるよう精進して参りたいと思います。

このところ関東では、コロナの新規感染者数が急増し連休、オリンピック開催、夏休み期間ということもあり、今後さらに増加すると予想されております。これからも暫くは新型コロナウイルスの感染拡大で世の中は混乱が続くことでしょう。阿弥陀様は我々凡夫を、智慧の光で照らし続けて護ってくださっています。「南無阿弥陀仏」と報恩感謝の名号を唱えながらも暫く感染予防に努め、霊肉救済に励んで参りたいと思います。

合 掌

## 盂蘭盆会

表白

謹み敬って

本尊 阿弥陀如来を奉請し

等しく三宝に帰依し奉る

上来、願わくばあつむるところの

功德をもって 本日ここに

大施餓鬼会を修し奉る

盆供養たむくるところの霊位は、

開闡院 釋 純宏法師

開基院 釋 阿彌教觀法尼

阿城院 釋 眞情法師

眞宗長生派物故者の霊

埼玉県さいたま市 杉原 秀佳

神奈川県足柄下郡 莊子 喜美子

東京都目黒区 阿部 次郎

東京都府中市 藤本 博

福島県郡山市 服部 卯八

神奈川県横浜市 岸山 正則

北海道釧路市 成田 育夫

各々の霊位が

ますます菩提を増上して

すみやかに無生に至らんことを

つつしんで疏す



7月11日は、長生寺近くにお住いの先生方の御参堂を頂きまして、法要が執り行われました。

盂蘭盆会とは、私達を救い導いて下さる阿弥陀如来様、そして如来様の救いによって佛となられたご先祖様に、常に導き御守り下さることへの報恩と感謝の念を込めて、法要が勤められるのです。

この度の法要では、仏様となられた7名の先生方について、長生医学発展の為に尽力くださったことなど、感謝の念にしばし思いを偲ばせていただきまして、感謝感激の盂蘭盆会でした。お陰様で私共の

日々の生き方を顧みるとともに、無償の愛の大切さを考えさせられました。

## 行事・医学会 中止のお知らせ

### 【三支部合同医学会】

中止致します。

### 【秋季行事】

11月12日講習会、13日医学会は行いません。

ただし、14日 部長のみによる事業部全体会・報恩講は行います。



## 宗 教 編

## 法 話

得勝寺 本 莊 一 治



前回は、繰り返しですが、聖徳太子さまが「救世観音大菩薩」さまの化身であられると言われるほど、生死の苦海に沈む庶民を心を込めてお救いくださるお慈悲の深い聖徳太子さまの、そうしたご姿勢を『日本書紀』では具体的にお示しくださっておられる点について述べさせていただきました。

そして、さらには、父上王に当る用明天皇さまがご病気を抱え、やがてお亡くなりになりましたが、そのご看病について、勿論、父上王さまですから、当然と言えば当然ですが、誠心誠意、心を込めて看病されました。そうしたご姿勢を力強くお示しくださった点についても述べさせていただきました。

その後ですが、聖徳太子さまは、用明天皇さまの御冥福を祈願される為に、今度は、叔母に当る天皇、推古天皇さまと力を合わせ、用明天皇さまが希望された薬師如来さまのお像を造られ、しかも、そのお仏像を安置する寺院として、皆さんもご存知のあの有名な奈良県にある法隆寺を創建されておられ、用明天皇さまの御魂を心を込めて祈願されましたと言われております。

したがって、そうした背景が大きくあって、多くの庶民の人々は、聖徳太子さまは、まさに、救世観音大菩薩さまの化身であられると崇敬されておられていたのです。

そうした経緯から親鸞聖人さまは、さらに、ご『和讃』の中では、次のように聖徳太子さまを讃えられておられます。

「無始よりこのかたこの世まで 聖徳皇のあはれみに 多々のごとくにそひたまひ 阿摩のごとくにおはします」とあるのです。意味的には

(限りの無い、果てしのない無限の昔から

現在に至る此の時代まで、聖徳太子さまは、あらゆる衆生を哀れみくだされ、まさに、父の如くに付き添い支えてくだされ、さらには、母の如くにお慈愛豊かに見守り擁護して下さっております) とあります。

この中で、初めに「無始より」とありますが、親鸞聖人さまのお気持ちといたしましては、聖徳太子さまとは、そもそもは、救世観音大菩薩さまの化身であられ、しかも、この救世観音大菩薩さまとは、本来は、阿弥陀如来さまのお慈悲を示す菩薩さまなのです。とお示しされているのです。

したがって、阿弥陀如来さまと救世観音大菩薩さまとは別の存在ではなく、本来は一体であるのです。そうした意味では、阿弥陀如来さまのお慈悲は無限の過去からありますので、聖徳太子さまのお慈悲も、まさに、無限の過去から私共庶民を差別なく、巾広く擁護して下さっておられるのです。と親鸞聖人さまは聖徳太子さまを高く評価されておられますと共に、その気高いご恩徳に対しての報謝の思いが深く、強くあったのではないかと思わせていただいております。

### 1. 聖徳太子さまのご逝去について

親鸞聖人さまにとりまして、『日本書紀』に記された聖徳太子さまのご逝去の際のありさまに深く心うたれておられたのです。

それも、次のように表記されていたからに相違ありません。それは、

「厩戸豊聡耳皇子命、斑鳩宮に薨りましぬ。是の時、諸王、諸臣、および天下の百姓は、ことごとく、長老は愛児を失うがごとく、塩酢之味口にあれども嘗めず、少幼者は慈める父母を亡うがごとく、哭き泣つる声、

行路に満てり。すなわち耕夫は耜を止め、春女は杵せず。皆いわく、日月輝を失いて、天地すでに崩れぬべし。今より以後、誰をか恃まん哉。」(巻二十二)とあったからに相違ありません。意味的には、

(聖徳太子〈厩戸豊聡耳皇子命〉さまは、お住居であられた今の大阪府にある斑鳩宮というご皇居でお亡くなりになりました。此の時、皇居内の方々、臣下の人達、そして、さらには、諸民の多くの人達、すべての人達がことごとく、例えば、お年寄りの方ですが、わが子に先立たれたごとくに悲しみ深く、食事も思うようにはいきませんでした。また、逆に、多くの子供達は父や母を失った如くに泣き叫び、村中ではそれらの泣き叫ぶ声が満ちあふれていました。さらには、田畑で働いていたある男性は、鋤を持ち上げての耕す力がなくなりました。また、家で過ごす女性達は家事の力を失い、ぼんやりとしていました。したがって、すべての人達が聖徳太子さまを失った悲しみは、まさに、太陽と月とが同時に無くなってしまったような深く大きい悲しみに沈まれたのです。これから先、一体、誰を頼りにして生きていけるのか、悩みは深く大きいものでした。)とあるのです。

こうした聖徳太子さまを失った当時の人々、国民をあげての悲嘆はすごく大きく、そうした詳細な描写が、この歴史ある『日本書紀』に記載されておられるということは、聖徳太子さまのご生前の遺徳が、いかに広大であり、かつ、偉大であったかが記載された背景に大きくあったのではないかと思います。さらに、この『日本書紀』の中では、聖徳太子さまのご逝去について、次のような詳細な記録も記述されています。

それも、日本国ではなく、かつて聖徳太子さまの師匠の役を勤められたという朝鮮

の高句麗の高僧であられた恵慈大師というお方が聖徳太子さまの薨去を伝え聞き、悲しみのあまり、次のように告白されたと言われている。「自分とは国は違うが、もう私は生きていく甲斐がなくなった。自分も死んで、お浄土で一緒になろう。」と言って、翌年の同月同日に亡くなられたという記録までもが記述されているのです。

では、その記述ですが、のぞいてみますと、次のようにあります。「この時にあたり、高麗の僧恵慈、上宮皇太子薨りましぬと聞き、大いに悲しみ、皇太子のために僧を請うて設齋す。よって、みずから経を説く日に誓願していわく、『日本の国に聖人まします。上宮に豊聡耳皇子ともうす。まことに、天に攸縦たり。玄聖の徳をもって、日本の国に生まれたもう。三統を苞ね貫きて、先聖の宏猷を纂ぎ、三宝を恭み敬いて、黎元の厄を救いたもう。これ実に大聖なり。今、太子すでに薨りぬ。我れ異国と雖も、心は断金にあり。某ひとり生けりとも何の益かあらん。我れ来年2月5日をもって必ず死らん。よりもって上宮太子に浄土に遇いたてまつりて、もって共に衆生を化せん。と。ここにおいて恵慈、期日にあたって死せり。」

(前と同じ巻に)と記述されています。

意味内容につきましては、次回、また説明させていただきますが、聖徳太子さまが薨去されてから百年後に編集されたのがこの『日本書紀』であったのです。その中で、聖徳太子さまの個人に対する詳細な記述、さらには、隣国である朝鮮の高僧の悲嘆の記述までがあり、また聖徳太子さまのご遺徳が当時もなお、それほど偉大であり広大であったことを物語っているのではないのでしょうか。

では、その意味内容につきましては、次回あらためて記述させていただきます。

合掌

## 社会保険制度 その2

長生学園 講師 星 虎 男



### 3) 療養費の支給基準と請求事務

#### I) はり、きゅうの支給基準

##### i) 支給対象

はり師、きゅう師において療養費の対象となるのは、慢性病であって医師による適当な治療手段のないものであり、①保険医療機関における療養の給付を受けても所期の効果の得られなかったもの、②今まで受けた治療の経過からみて治療効果が現れていないと判断された場合であることが原則である。さらに医学的立場からはり師、きゅう師の施術を受けることを医師が認め、これに同意した場合が療養費支給に該当する。

現在、厚生労働省の通知で支給対象として認められている疾患は、慢性的な疼痛を主症とする疾患のうち、神経痛、リウマチ、頰腕症候群、五十肩、腰痛症、頰椎捻挫後遺症など、神経痛、リウマチの類症疾患である。

医師の同意により、これらの疾患であることが確認できれば、個別に判断することなく、①、②の要件を満たしているものとして療養費の対象となる。

通知で示されている6疾患以外の疾患は全く認められないというのではなく、慢性的疼痛を主症状とするものに対して神経痛、リウマチなどと同一範疇と認められれば支給要件に該当するかどうかを個別に判断することとなっている。

##### ii) 療養費の額

次に示す、はり師、きゅう師の施術料金は、2002年6月から適用されているものである。

##### ① 1術（はり、またはきゅう）の場合

1回につき1,190円（初回のみ2,300円）

※はり、またはきゅうと併せて、電気針または電気温灸器を使用した場合は1回につき1,200円（初回のみ2,330円）。

##### ② 2術（はり、きゅう併用）の場合

1回につき1,490円（初回のみ2,650円）

※はり、またはきゅうと併せて、電気針または電気温灸器を使用した場合は1回につき1,520円（初回のみ2,680円）。

##### ③ 往療料

往療距離が片道2km以内1,875円

(1)往療距離が2kmを超えた場合は、2kmまたはその端数を増すごとに800円加算する。片道16kmを超える往療については、当該施術所から往療を必要とする絶対的な理由がある場合に認められるものであるが、かかる理由がなく患家の希望のみでは認められない。(2)往療の距離は、施術所と患家の間の直線距離で計算する。2戸以上の患家を連続して往療するときの距離の計算は、先の順位の患家の所在地を拠点とする。(3)往療料は歩行困難など、真に安静を必要とするやむを得ない理由により患家の求めに応じて患家に赴いて施術を行った場合に支給

されるもので、単に患者の希望のみにより、または定期的もしくは計画的に患家に赴いて施術を行った場合には支給されない。(4) 往療を伴う施術の場合、療養費支給申請書の「摘要」欄に往療日および往療を必要とした理由を記載する。2戸以上の患家に対して往療を行った場合、および同一家族内の2人目以後の患者を施術した場合、当該往療した他方の氏名、所在についても記載する。

### iii) 支給期間および支給回数

従来は、はり、きゅうの施術にかかる療養費の支給期間は初療の日から最大6ヵ月間に制限されていた。また、支給回数についても、初療の日から1ヵ月以内は15回まで、1ヵ月を超えて6ヵ月までは月10回(合計65回)とされていた。しかし、2002年6月からは、個別の症状を勘案し、従来の支給期間や支給回数の限度を超えて支給しても差し支えないものとされ(2002年5月24日付厚生労働省保険局長通知)、期間、回数の制限は撤廃された。

なお、初療の日から3ヵ月を過ぎたとき、さらに施術を続ける場合には改めて医師の同意が必要となるが、実際に医師の同意を得ていれば療養費支給申請書に医師の住所、氏名、同意年月日、病名などの付記があれば、必ずしも同意書の添付が必要ないとされている。

## II) マッサージの支給基準

### i) 支給対象

療養費の支給対象となるのは、麻痺、関

節拘縮の症状がある場合、医療上必要があって行われたマッサージ、温罨法、電気光線療法および変形徒手矯正で、保険医療機関における療養の給付が不可能の場合、あるいは保険医療機関においてその治療目的が十分果たせない場合に限られる。適応となる症状は一律に診断名で決められるのではなく、筋麻痺、関節拘縮に対する施術であれば、概ね承認される。

### ii) 療養費の額

あん摩マッサージ指圧師が行う施術についての療養費の額は、人体を5局所(四肢と体幹)に区分し、施術した局所数に応じて計算する仕組みとなっている。次に示す、あん摩マッサージ指圧師の施術料金は、2002年6月から適用されているものである。( )内は令和2年12月に改定された金額。

#### ① マッサージを行った場合

1局所につき240円(350円)

#### ② 温罨法を併用した場合

1回につき80円(110円)

※温罨法と併せて、電気光線器具を使用した場合は110円加算。

#### ③ 変形徒手矯正術を行った場合

1肢につき520円(450円)

#### ④ 往療料(はり、きゅうの支給基準とおなじ)

(4Kまで2,300円)

### iii) 支給期間

マッサージについては、特に期間の制限はない。ただし、初療の日から3ヵ月を過ぎた時点でなお施術を継続しようとするには、改めて医師の同意が必要となるが、この場合、



実際に医師の同意を得ていれば、はり、きゅうの取扱と同様、必ずしも同意書の添付は必要ない。なお、変形徒手矯正については、1ヵ月ごとに医師の同意が必要となる。

### Ⅲ) 療養費請求事務の取扱

#### i) 受領委任制度

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧の施術は療養費で扱われることから、患者は施術料金の全額をいったん支払った後、自己負担分を除く療養費の払い戻しを申請するのが原則である（償還払い）。

しかし、同じ療養費で扱われる柔道整復業務の場合、保険者との協定により本来、保険者から患者に後払いされるべき療養費を、患者の委任を受けた業者が受け取る方式が特例的に設けられている（受領委任制度）。

#### ii) 代理請求と代理受領

療養費の請求は、被保険者自らが保険者に請求することを原則としているが、複雑な書類を患者自ら作成することが困難であるため、委任を受けた業者が患者に代わり、必要書類を揃えて保険者に請求し、受領することができる（代理請求、代理受領）。ただし、療養費の受領を委任された場合、その契約を直接の当事者である患者と業者との間で行うことは好ましくないという考えから、保険者への請求と療養費の受領は、第三者機関である各都道府県の保険取扱団体を經由して行われるのが原則である。

なお、代理請求については療養費支給申請書、施術料金領収書、医師の同意書または診断書、代理受給については療養費の受

領を委任されたことがわかる委任状が必要である。

#### ●老人保健法の医療費の支給について

老人保健法によるはり、きゅう、あん摩マッサージ指圧にかかる医療費の支給の取扱については、下記事項を除き健康保険における取扱の例によることになっている。

#### 1) はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧にかかる医療費の支給額

健康保険における施術料金の算定方法により算定した額（当該額が現に施術に要した費用の額を超えた場合は、現に施術に要した額）から老人保健法第28条に規定する一部負担金に相当する額を控除した額を基準とする。

#### 2) 医師の同意書の取扱

初療の日から3ヵ月を経過した時点でさらに施術を受ける場合に必要な医師の同意書については、次によることとなっている。

①実際に医師から同意を得ていれば必ずしも医師の同意書の添付は必要なく、医療費支給申請書に同意した医師の氏名、住所、同意年月日、病名が記入されていればよい。要加療期間の指示がある場合はその期間が付記されていること。

②当該施術は、患者に代わり医師の同意を確認したときは、当該医師の氏名、住所、同意年月日、病名が記入されていればよい。要加療期間などの指示がある場合はその期間を記載する。

つづく

## ご挨拶

札幌教会主管 酒井 和 男



新緑の候、コロナ禍に於いても尚樹々は輝き花は咲き、大地そして空からのプラナエネルギーに満たされた北海道最高の季節がやって来ました。

本来ならば北長連会員が一堂に会し、盛大に夏研究会が開催される所ありますが、残念ながら昨年を引き続き中止やむなくとなりました。コロナの流行以来、私たちは当たり前の日常から切り離され不慣れな生活の日々を過ごしています。

今も尚、懸命に治療に当たられている医師看護師はじめとする医療従事者の方々に深く感謝致します。と同時に長生療術により患者さんの免疫力を高めるよう日々奮闘中に長生会員の諸先生方に偉大なる敬意を表します。

人類の歴史を振り返ってみますと、今回の新型コロナウイルスと

同じ様な事が何度も起こっています。親鸞聖人も蓮如上人も疫病や飢餓の中、浄土真宗のみ教えを明らかにされています。長生上人の時代も流行り病結核との戦いでした。

現代においても大変な時代、まさに世の中が大きく変わる激動の時となりましたが、この難局を皆で乗り越えて個人としても良い方へ大きく変化するステップとして今出来ることを見極め、粛々と進んで参りましょう。

近い将来、皆様と笑顔で再会出来る日を心から楽しみにしております。 合掌

## 今だからこそ・・・

北海道連合会 会長 上田 義博



令和3年7月、まさに盛夏を迎え、ここ札幌の地において「第62回夏季研究会」を開催する予定でしたが、昨年引き続きコロナ禍により開催中止という苦渋の決断をすることになり、残念至極の念を抱いています。

例年ですと全国から同士が集い、猛暑の中で熱気を漲らせながら深夜まで熱弁バトルを繰り返していましたが、今年は「盛夏」の熱弁ではなく「聖火」の炎が先に到着して灯されてしまいました。

昨年から続く未曾有の状況に世界中が汚染され危機的状況であっても長生医学に携わる同士の信心は揺らぐ事なく強固です。

「信心を決定して長生療術を施し、霊肉を救済して社会福祉の向上に貢献する」を遂行し、日々の精進に努めながら不変の信心を貫いている事と確信致しています。

この度は、北長連顧問であり書記の激務も快く？遂行して頂いて

いるA先生から「第62回夏季研究会テキストの発行」の提案があり、役員一同からも賛同頂き、私達の体験を今の未曾有だからからこそ出来る事で残したく考えました。当たり前と思っていた対面での夏季研究会の開催は叶いませんが、令和3年の「夏季研究会テキスト」として、同士の熱意をそのまま未来へ「継承」出来る事の安堵感を頂きました。

この紙面をお借りしまして、北長連会員の先生方のご協力へのお礼と改めて常に見据える北長連ワンチームとしての方向に賛同頂ける結束の固さにもお礼申し上げます。

未曾有の今だからこそ、私達の責務は何か？どの時代にあっても真宗長生派の根本教義を胸に日々の精進に邁進して行く事が私達の足跡を残す事だと考えます。この素晴らしい「第62回夏季研究会」テキストを北長連会員の先生方の手元に届けられる事に感謝致します。

合掌





## お礼とご報告

深川市 福 井 剛



初めに昨年7月の父の葬儀の際にはご多用にもかかわらず、御参列・御焼香・御香典・御供物・弔電等を賜り誠にありがとうございました。父に対して寄せられました皆様の御厚情に深く感謝し、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

昨年7月14日にコロナ関連の原稿を依頼された際に、父の容態が悪く危篤だったことから「余裕がないので……」と北長連グループラインでお断りした所、大村和彦先生に「入院しているの？」と聞かれ、「在宅で見ていましたが、昨日、救急車を呼んで入院しました」と伝えると、「遠隔プラナを送る」と言って頂き、さらに賛同していただいた多数の先生からもプラナを送って頂けるという有り難い事があり、すぐに自分の体にも優しく温かなプラナに包まれた事を感じました。

その日、仕事が終わった短い時間なら入院している父に面会できるという事でしたが、その日までの数日間は寝ているか、苦しんでいるか、虚ろな目で天井をみているか……がほとんどで、会話は出来なかったのですが、病室に入ると「どうしたの？」としっかりした目で聞いてきたので驚きました。「短い時間ならいいみたいだから来たんだよ」と言うと「手と腕を動か

してほしい、足をさすって欲しい……」などと、会話が出来たことの奇跡を起こしてくれた遠隔プラナに感動しました。

その日、神奈川から急遽、来ることになった姉に「面会に行ってきたら父さんとしゃべれたから急変でもしない限りは会えると思うよ。北長連の先生達が遠隔プラナを送ってくれた」と説明すると驚いていましたが、姉がこちらに到着するのは夜中ということで前日までの容態を知っている親族、病院関係者は姉が着くまでもたないと思っていました。しかしながら姉が病院に着くと父と会話ができ「『お腹をさすってほしい……』等、朝まで付き添って色々看病ができて良かった」と言っていました。本当にありがとうございました。

15日、16日は、面会にいくと眠っていました。17日早朝に連絡が入り、家族皆で最後を看取ることができました。父が亡くなる前後に他にも不思議な事が沢山起こり、通常、目には見えない物や事があるんだと実感しています。お墓を建てる際には生前の父にふさわしい字を墓石に1文字入れようと家族で話し合い「律儀、律する」という思いを込め「律」と入れさせて頂きました。



コロナ禍においても現在までコロナ感染や濃厚接触者になることもなく1日も休むことなく過ごしています。昨年の1回目の緊急事態宣言が出た時に2日程度「暇になってきたか……」と思いましたが、ここ空知の深川市近隣は感染者があまり出ていないこともあって患者数が減ることもなく、例年通りに治療する事ができることを有り難く思っています。

近隣の五十代女性の方が「微熱があって咳が出るんですが診てもらえますか？」と来院してから言われ、「現状、コロナの事がありますから、今日は申し訳ありませんが症状が治まってから治療しましょう」とお断りしたことが一度ありました。

車で二時間弱かかる地域から二人で来院された20代女性の一人が待合室でもマスクをしておらず咳をしていたのを見て「咳はどうしました？」と伺うと「子供が風邪をひいてうつされたんです」とのことでしたので「マスク差し上げますから着用してください」と言ってマスクを渡し、治療中も飛沫を浴びないように細心の注意を払って短時間で治療を終えさせて頂きました。その後、風邪の症状がうつらなくて良かったのですが、こういった事態に際して臨機応変に対応することはなかなか難しく感じられます。

最後に副会長職を受けてから何も出来ていませんし、迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、学ばせて頂きながら頑張りたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 見えない力に守られて

旭川市 大村 ま や



私が大村長生館に勤めて1年になりました。この1年間は緊張と恐れとの戦いだったように思います。焦るほどに見落としがあったり、カルテに「人工関節」「先天性股関節症」などの文字が眼に入ると身構えてしまったり、「私の施術でさらに症状をひどくしてしまったらどうしよう。取り返しのつかないことになったら・・・」などと不安はなかなか拭うことができませんでした。毎朝、腹痛と闘いながら「本当に私はこの道でよかったのだろうか」と悩む日々、それでもこの一年を乗り越えられたのは和彦先生と大泉先生が「できることをすればいい。まずは基本の一般操作をしっかり！効果はあるから。」「プラナを信じて。大切なのはしっかりイメージをもつこと。」と激励してくださったこと、「前より上手になっているね。がんばっているね」と患者さんからも温かな言葉をかけて頂いたこと、そして先代こと祖父、大村基實先生の存在を感じる瞬間があったおかげと感じます。

まだ勤めて3ヶ月頃、とある患者さんに「ねえ、あなたももしかして大先生のお孫さん？」大先生とは先代、大村基實先生のこと。特に私は患者さんに孫と言うことも伝えておらず、名札をしているわけでもなかったので少し驚きました。「そうですよ。どうしてわかったんですか？」と尋ねると「雰囲気がすごく似ている。あとね、触り方が大先生みたいで懐かしい」とほんのり涙を浮かべられていました。

また、別の患者さんには「大先生の施術み

たい」と言われ「先代とどこが似ていますか？」と尋ねてみました。

「まず、最初の雰囲気。

大先生は笑顔で『よくきたね。』と迎えてくれるのだけど、それだけで心が軽くなるの。あなたの最初の挨拶はそれにとっても似ている。あと、触れられているとき眼をつぶっているとそこに大先生いるみたいだった。」とお話ししてくださいました。

私は、祖父から直接施術の指導を受けたことは一度もありません。施術も幼いときに1度受けた記憶にあるのみです。長生館での祖父をよく知らず、どんな風に患者さんに向き合っていたのかも知りません。ただ、患者さん達のお話から祖父の治療は最初の挨拶からはじまっていたこと、ほんの少しでも私がそんな祖父に近いと言われたことを誇らしく、眼には見えずとも祖父はすぐ側で守ってくれているように思えたのです。

この文章を書いている今でも施術は少し怖いですが。それでも以前よりは自信をもって患者さんと向かい合えているように感じています。これからもたくさんの恐怖や不安にぶつかることになるのでしょうか。それでも「まあ、なんとかするしかないか」と思えるのは、この1年間で培った経験と感覚、教えて頂いた技術、そして眼には見えない大きなエネルギーが私を守ってくれているからと思えるからなのです。これまでの出来事、ご縁に感謝して今後も長生の治療師として精進して参ります。

随 想 編

「なせば成る」

東京都 玉川 佳代子

成せばなる 成さねばならぬ何事も  
成らぬは人の 成さぬなりけり

子供の頃より、祖母に何かにつけ言われて来た言葉です。

どんな事も、興味が湧いたなら臆せずにやってみよう。実際に試して見ない事には何にもわかりませんよと……。

若い頃は音楽が好きで、ピアノ・声楽を嗜んでいて、ある時、藤原歌劇団で団員募集があり、応募した所、運よく入団出来、オペラの舞台に立つ事も出来ました。

ところが、その後車を運転中に、11トントラックのアオリ運転で車をぶつけられ、

頸椎・腰椎を痛め、その治療に通った長生学園卒業の治療師の先生に、治りが悪いから長生学園に入学して、そこは良い先生が大勢いらっしゃるから、勉強かたがた治すとよいと勧められ、教えて頂いた通りに入學し、体も徐々によくなる傍ら、家族、友人等々多くの人達にも治療を頼まれ、自然の流れで60歳より、長生学園卒業と同時に、長生療術を仕事とすることになり、92歳の今日に至りました。

ゴルフ、ピアノ、お琴は仕事の傍ら、とても楽しく続けております。

長生、趣味があと何歳まで続けられますやら……。

北長連「第62回夏季研究会」テキストより転載

夏季研究会テキスト投句

定期総会返信投句

藤棚の 下から空を 仰ぎけり  
 ラムの耳 我が者顔に 咲きほこり  
 幼な子の 重さを知らず 若葉雨  
 ベランダの 棚に吸い付く 子の裸足  
 対の蝶 狭庭に舞ひて 良き日なり  
 涙梅雨 終息みえぬ コロナ渦(うず)  
 類たたく 蝦夷梅雨浴びて 厄祓い  
 感謝なり コロナ禍なれど 四季の風  
 春暑し アスバラ伸びて 曲がる腰  
 いつの世も 膝窩の刺激 むせび泣く  
 厳かに 響く読経の 青葉祭  
 囀りに 誘われ覗き 雀の子  
 声かけず 独り目で追う 水着の娘  
 旅行けず 人混み行けず もうイケズ  
 皆美人 目元の化粧 全力で  
 板マスクの プリーツが好き 病あがる  
 夏五輪や 往来を計る 金字塔  
 孫いても 冷めた孫の手 背に入れる  
 孫の手や ぐみの実ひとつ 見せにくる  
 空青き 菜の花畑と 二重奏  
 コロナ禍の ひとりビールや ほろ苦し

大村 和彦  
 井出智恵子  
 上田 義博  
 大村 まや  
 大泉壮太郎  
 近藤 俊之  
 横澤 達也  
 近藤三紗子  
 藤本 隆  
 浅井 威

育みし 信心の光 春を待つ  
 みちびかれ 米寿の祝い 雛となり  
 耐え忍ぶ 豪雪寒波 コロナ禍で  
 コロナ禍で インフルエンザ 何処へか  
 暗黒の コロナに負けぬ 雪化粧  
 亡き親と 生ける屍 冬籠り  
 新法師 初お目見えの 春彼岸  
 本堂に 新法師の声 春彼岸  
 うらうらと 法話響ける 彼岸かな  
 厳かに 読経の響く 春彼岸  
 着ぶくれて 通学バスに 乗り切れず  
 寂として 灯油ストーブ 唸るのみ  
 吹雪く夜に アルバム開き ひとり酒  
 猛吹雪 眠れずじっと 待つ夜明け  
 孫の背に 投げて届かぬ 雪つぶて  
 大村 和彦  
 藤本 隆  
 上田 義博  
 近藤 俊之  
 浅井 威





## 悩みや疑問、気軽に聞いちゃおう ～みんなで作る“長生知恵袋”～ 第50弾～はみ出る勇気～

なぜか、どちんを気に入っているらしい大村先生。次から次へと聞いてみたい質問が浮かぶようです。正解がない質問だからこそ、治療師だけでなく、様々な人の意見も聞きたいのかも…。さて、どちんは新たな難問にどう答えるのか。

なんか、また召喚されましたが(笑)  
…こんなド素人の専業主婦の私なんかこんなにしょっちゅう出ばって戯言言って、みなさんの役に立つんですか？そろそろウザいって言われてそう…心配になってきましたよ(;^ω^)



心理学は私も素人ですから、気にしないでください。いろいろな方のご意見を伺うことは勉強になりますので。  
というわけで、どちんさんにぜひ聞いてみたいことがあります。



長生の歴史を築いた先人たちは、あるものに対するこだわりが強く、とてもエネルギーが豊富。そしてムチャ个性的な方が非常に多いです。  
私の師匠、故大村基實がまさしくそうでした(笑)  
しかし、こうした個性は画一的な日本社会では何かとはみ出てしまいます。おそらく大きな組織に属していたら、個性を発揮できず、変人として生き難い人生を送っていたと思いますが、師の強烈な個性とエネルギーを生かせる長生に出会えて幸せだったと思います。

確かに、私の知ってる御大の方々には個性派揃いで、フツーの会社員をやる気がしない…(;^ω^)。日本は、未だにはみ出し者を嫌う無個性重視が根強いから、何かしらの個性や特性のある方にはちょっと生き辛い国ですよ。



当院に通う、ADHD(多動性障害)の子は、とても純粋で魂が眩しいくらいキラキラ輝いています。ただ、とにかく動くので捻挫など日常茶飯事です。  
起こった現実だけを見れば、家族が頭を抱えることも多いですが、見えない彼の内側には、エネルギーでこだわりの個性が隠れているのです。  
そんな彼らに必要なのはただ一つ。個性を殺さずに済む安心安全な場です。  
人は安心安全の場があって初めて、自立し挑戦することか出来るのです。



藤井聡太やGoogleの創業者が受けたという「モンテッソーリ教育」が近年注目を集めています。イタリアの医師マリア・モンテッソーリが20世紀初頭に考案し、当初は知的障害児の教育で成果を上げました。  
一言で言い表すと「物事に対してのこだわりを尊重する」教育法です。

子育てに心配や悩みを持つお母さんは多いですが、発達障害と診断された親の心配や悩みはより深刻だと思えます。しかし先ず親が、こうした子供の特性に気づき、お子さんの個性を尊重することが出来れば、子どもはピカピカの魂を活かし、生き生き育つと信じ治療しています。

どちんさんは、発達障害児についてどうお考えですか？



発達障害と一口に言っても、天使のようにただただふわっとしている子もいましたし、やけに人懐っこいけどこだわりだとキレて大変な子、のべつまくなし敵意むき出しな子やら、興味のあるところ以外無関心、とにもかくにも傷つきやすい、など一人もぴったり同じ特徴の子はいませんね。度合いも様々ですし。

たまたま幼稚園や習い事で一緒にした方に発達障害児やその疑いの強い子が多かったり、小学校では防犯活動中に校内で彷徨ってる子に声掛けたりと、なぜかそういう子たちを相手することが多かったので色々体験しています。

子どもたちへの向き合い方としては、まず第一に敵意がないと理解してもらうこと(笑)。あとはスキンシップ多めかもしれません。

言葉が響きにくい子には、こちらの気持ちを認識させることに重点を置いて冷静に、“目を合わせて(←最重要)”簡単な言葉で繰り返しわかるまで伝えるということ、“真剣に”根気強く伝えるようにしていました。

とにかく、相手の懐に入りこめればこっちのものですからね。

みんな純粹でまっすぐな子が多いので、その子その子の特性を理解すればパニックになった時にも対処がしやすくなるんじゃないかと思います。

今はそういう子たちに対しての「世間と自分との感覚ギャップを埋める」ためのプログラムが充実してきていますが、それ以前は「ちょっとめんどくさい子」というレッテルが貼られるだけで、そのことについて、周りはおろか本人でさえも対処法など知る由もないわけで、えも言われぬ生き辛さを抱えて今を生きている人たちが多くいるんですよね。いまさら頭の凝り固まってしまった大人を方向転換させるのはそう簡単なことではありませんし。

発達障害児の親の中には、自分の子は絶対違うと頑なに受け入れず「普通」であることに固執する人もいるそうなんです。でも、それって結局いつまでも苦しくて、自分の子を否定しつづけることになって、お互いの信頼関係なんて結べるはずもないし、最終的に親である自分を追い詰めていくことになっちゃうじゃないですか。

わざわざ「一般道」に乗せるために無駄に苦しい努力をさせるのではなく、さらっと受け入れて、生き辛い世の中から生き易い世の中に進路変更する「新道」を開拓したほうが、なにより楽しいし目の前が開けると思います。

そしていつか、この世の誰もが、すべての「多様性」をさらっと受け入れて様々な生き辛さから解放される世界になることを願っています。

みなさまからのご意見・ご感想・ご質問は随時受付中です。匿名掲載も大歓迎です！  
記事作りの励みになりますのでどしどしお寄せください。(\*' ω' \*)

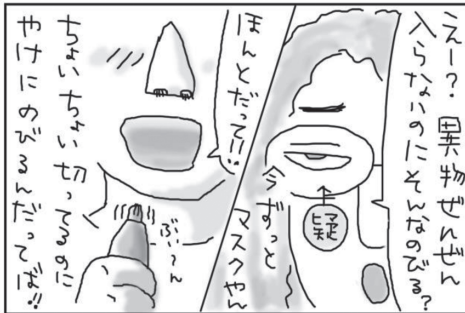
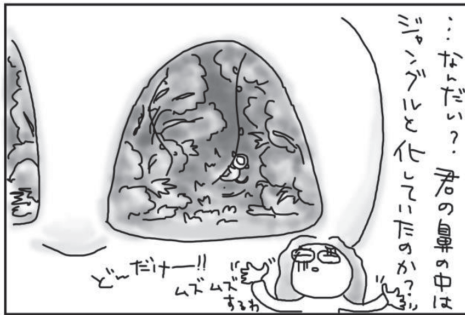
〒230-0052 横浜市鶴見区生麦1-7-10 E-mail:tani@chousei.jp  
長生医学会事務局「知恵袋」係



帰ってきた  
どちんのただいま徒然中

第10回

実名報道



帰ってきた

★どちんのただいま徒然中★

その10

ひっさびさに、この形です。何年ぶりかしら…。どーしても私に漫画を描かせたい同期の鼻毛センサー（知恵袋の感想くれた人物）が、「ネタになるんじゃないかな〜」と送ってきたので、重い腰を上げました。こんなどうでもいい漫画コーナー読みたい人なんていないのよ（汗）。でも、せっかくなんで、極少数ファンのためにお送りします…（^ω^）

少しでも楽にマスク生活を送れる知恵として紹介したかったのですが、その後こんな会話に…。

鼻）歳とるとあっちこっち生えてくるからね！  
ど）でも、要るとこの毛は減るんだよ…父ちゃんみたいになっちゃったら…どうしよう（；ω；）  
鼻）親戚の女性が育毛剤買ってるよ！

ど）仲間いたっ！髪は女の命っていうくらいだぞ！  
鼻）タンパク質不足が原因だとか。プロテインがイイらしいよ？肌つやもハリも、目の下のクマも良くなるみたい。美容部員に、プロテイン飲んでる話して、効果に驚かれたみたい。

ど）マジか！！それは…魅力！！でも、面倒でスキンケアすらロクにしたことないんですが？

鼻）今からでも遅くない！絶対旦那さんだって息子だってきれいなママのほうが嬉しいって！

ど）息子たちは気にしないでしょ。もうよくない？  
鼻）いや、旦那さんも息子たちも気づくって！！

最低限はやるよ！あとプロテイン（笑）  
ど）わかったよう…がんばるよう…。プロテイン、ついでに息子たちにも飲ませてみるか。

この歳になって、鼻毛伸び放題（マスクのせいじゃなくてただのトシじゃね？）男子からスキンケアでお説教を食らうって…（；ω；）ウゥ。でも、プロテインが肌つや良くするなんて考えたことなかったから、これは実験として面白いのでちょっとやってみようと思ってます。

このコロナ禍、外出はマスクでメイクも装飾品もなし、服も洗濯出来るもの。更年期で体調が今一で引きこもり、だらしなさが加速！少しは身なりも気をつけなきゃダメかな…と、コロナ明けを見越してそのあたりもリハビリしなきゃいかんのか…と、考えただけでどっと疲れたどちんでした。

面白ネタ・気になる話題・知って得する情報、募集中！

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦 1-7-10

長生医学会事務局「どちん係」

Eメールアドレス:tani@chousei.jp

## 令和4年度(第67期生)長生学園学生募集要項

### 入学試験日程

試験区分	出願期間(当日消印有効)	試験日
社会人入試《第1回》	2021年8月16日(月)～2021年9月1日(水)	2021年9月5日(日)
推薦入試《第1回》	2021年9月13日(月)～2021年9月29日(水)	2021年10月3日(日)
社会人入試《第2回》	2021年9月13日(月)～2021年9月29日(水)	2021年10月3日(日)
推薦入試《第2回》	2021年10月12日(火)～2021年10月27日(水)	2021年10月31日(日)
社会人入試《第3回》	2021年10月12日(火)～2021年10月27日(水)	2021年10月31日(日)
一般入試《A日程》	2021年11月8日(月)～2021年11月24日(水)	2021年11月28日(日)
一般入試《B日程》	2021年11月29日(月)～2021年12月15日(水)	2021年12月19日(日)
一般入試《C日程》	2022年1月4日(火)～2022年1月19日(水)	2022年1月23日(日)
一般入試《D日程》	2022年1月31日(月)～2022年2月16日(水)	2022年2月20日(日)
一般入試《E日程》	2022年2月21日(月)～2022年3月8日(火)	2022年3月12日(日)

※一般入試(B、C、D、E)は、それ以前の入試で定員に達した場合には行いません。  
 ※最新の入試状況はホームページで閲覧いただくか、直接お問い合わせください。

試験区分	エントリー期間	試験日
A〇入試《第3回》	2021年8月2日(月)～2021年8月17日(火)	2021年8月21日(土)
A〇入試《第4回》	2021年8月16日(月)～2021年9月1日(水)	2021年9月5日(日)

※A〇入試の詳細は、WEBサイトもしくは、直接お問い合わせ下さい。

### ★ 試験会場 ★

厚生労働大臣認可  
 宗教法人総本山長生寺付属



長生学園

〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-35-7

TEL 03-3738-1630 FAX 03-3738-1768

URL <http://www.chousei.ac.jp>



長生会便り =支部報告=

## 中央支部 定例研究会

日 時 6月27日(日) 10:00~13:00

場 所 長生寺 3F

参加人数 28名

### 訂 正

名簿

長生医学会役員名簿の中で、越田典明先生のお名前が、典照になっていました。  
大変失礼いたしました。

令和3年7月26日 印刷

令和3年7月30日 発行

発行者 日本長生医学会会長 柴田政宏

発行所 日本長生医学会本部

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦1-7-10

振替口座 横浜00240-3-2497

☎ 045-521-7486

FAX 045-504-2118

印刷所 有限会社 サン・プリンティング

〒146-0083 東京都大田区千鳥2-31-11

☎ 03-3750-6633